

鹿児島県 農業の特徴

- 1 農業は、鹿児島県の地域経済を支える基幹産業※であり、令和3年の農業産出額は全国第2位の4,997億円となっています。
- 2 特に、全国一の飼養頭数を誇る豚、肉用牛（黒毛和種）を中心とした畜産は、農業産出額の約67%を占めています。また、南北600キロメートルにわたる県土の中で、温暖な気候や全国第2位の広い畑地などを生かした野菜、花き、茶などの生産が盛んです。
- 3 令和4年に開催された「第12回全国和牛能力共進会鹿児島大会」では、最高賞の「内閣総理大臣賞」を受賞し、「和牛日本一」の栄冠に輝きました。
- 4 県では、さらなる農業の発展のため、田や畑の整備や、消費者や市場に評価・信頼される産地づくり、安心・安全な食の供給などの取組を積極的に進めています。

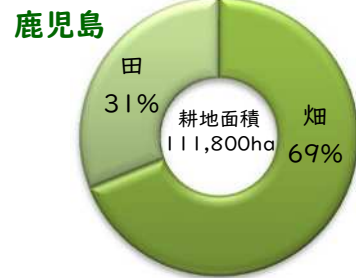
※ 基幹産業：国や地域の経済活動の土台となる重要な産業

耕地面積（令和4年）

※ 統計の数値は四捨五入のし方により合計値と内訳の計が一致しない場合があります。

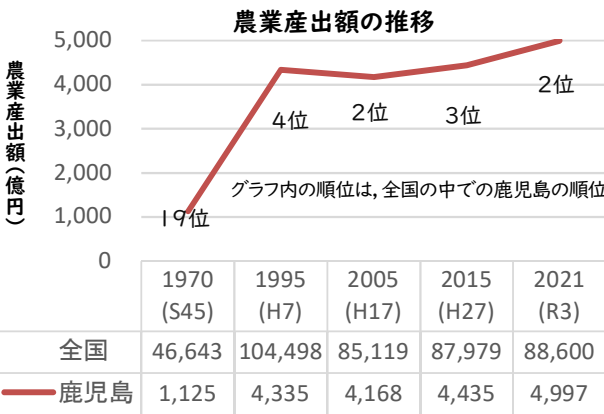
	耕地面積		田		畑	
	全国	鹿児島	全国	鹿児島	全国	鹿児島
全国	4,325,000ha	111,800ha	2,352,000ha	34,700ha	1,973,000ha	77,100ha
鹿児島			(鹿児島は全国28位)		(鹿児島は全国2位)	

(資料：耕地及び作付け面積統計)



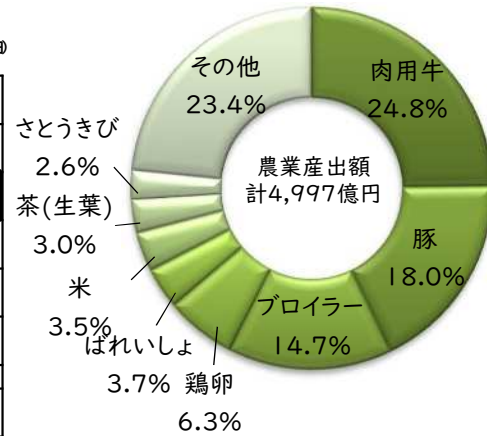
農業産出額

農畜産物と農畜産物を原料として作られる加工農畜産物を販売した金額のことを農業産出額といいます。



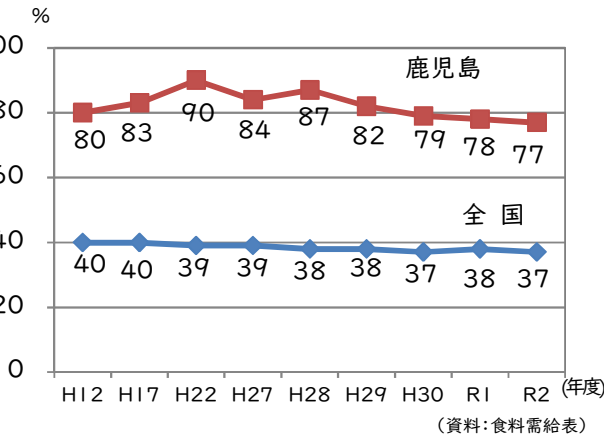
(資料：生産農業所得統計)

鹿児島県の内訳 (R3)



食料自給率

その国(地域)の食べものがその国(地域)でどれくらい作られているのかを示す割合を食料自給率といいます。



(資料：食料需給表)

令和元年の諸外国・地域の食料自給率

国名	%
カナダ	233
オーストラリア	169
フランス	131
アメリカ	121
ドイツ	84
日本	38

鹿児島県でつくられた食料が日本の食料自給率を引き上げるのに役立っています。日本で食べられる食料の約6割は、外国の食料に頼っています。

食料自給率の計算方法

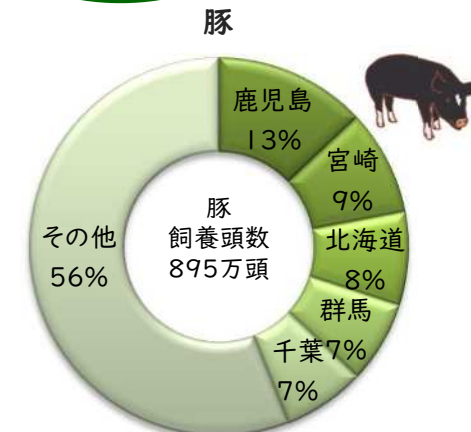
$$\text{食料自給率} = \frac{\text{その国(地域)で作られた食料の熱量(860kcal)※}}{\text{その国(地域)で供給される食料の熱量(2,265kcal)※}} \times 100$$

※ 数字は1人1日あたりの熱量で、令和3年度の日本の値です。

主な農畜産物の生産量

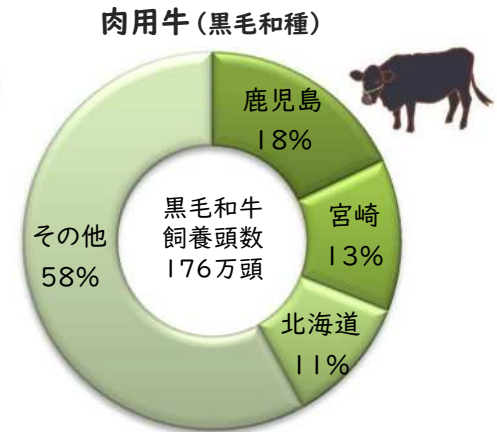
(R3) は、調査年が令和3年であることを示します。

1位



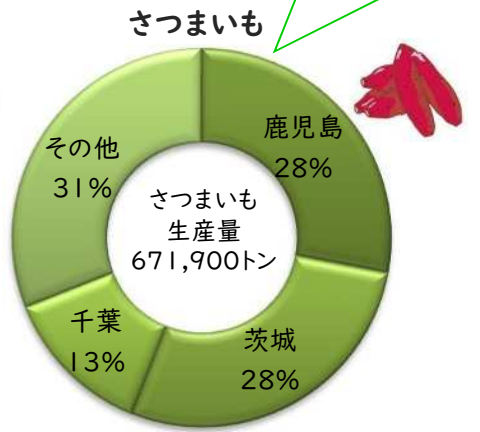
(R4) (単位：万頭)

1位	2位	3位
鹿児島	宮崎	北海道
120	76	73



(R4) (単位：万頭)

1位	2位	3位
鹿児島	宮崎	北海道
32	22	19



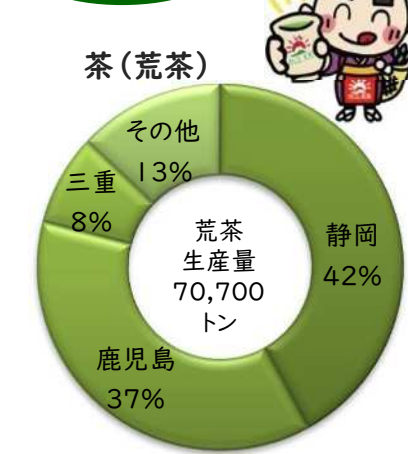
(R3) (単位：トン)

1位	2位	3位
鹿児島	茨城	千葉
190,600	189,200	87,400

鹿児島県で生産されたさつまいもの約4割はてんぷん用約5割は焼酎用(R3 鹿児島県調べ)

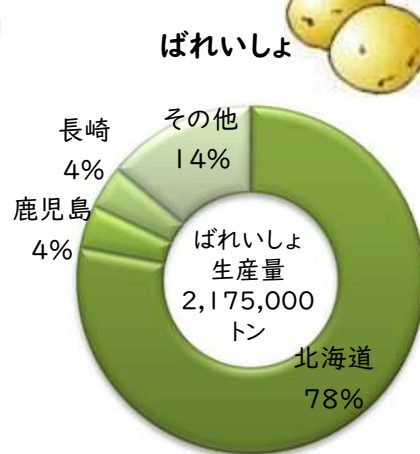


2位



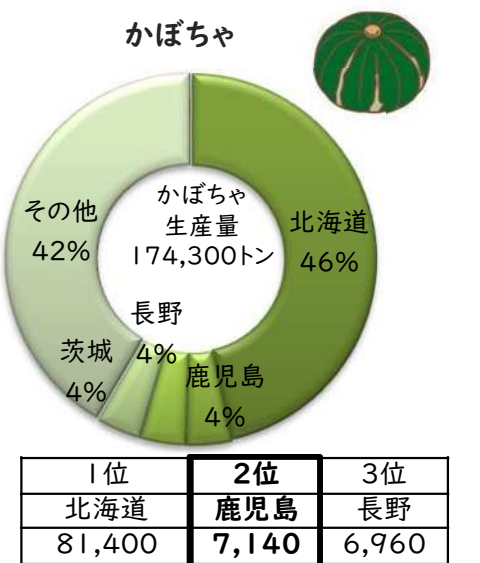
(R3) (単位：トン)

1位	2位	3位
静岡	鹿児島	三重
29,700	26,500	5,360



(R3) (単位：トン)

1位	2位	3位
北海道	鹿児島	長崎
1,686,000	91,000	81,800



1位	2位	3位
北海道	鹿児島	長野
81,400	7,140	6,960

さとうきび (R4) 534,100トン

3位



鹿児島県では、数多くの農畜産物が生産されています。私たちのまちでは、どんな農畜産物が生産されているのだろうか？

資料：畜産統計，作物統計，地域特産野菜生産状況調査，特産果樹生産動態調査